

カテゴリー	生産		
-------	----	--	--

- 【資料名】 足踏脱穀機
 【年代・来歴】 不詳
 【寸法】 (全体)幅73cm、奥行70cm、高さ64cm
 (扱胴)外径44cm、内径43cm、扱歯長5cm
 【材質】 木製、鉄製
 【保存状態】 概ね良好

【略説明】

稲の脱穀に用いる。足踏み装置によりU字の扱歯付きのドラムを回転させ、扱歯によって穂から籾をはじき飛ばし脱穀する農機具。稲だけではなく、大豆や小豆、そばなどの脱穀にも利用された。

写真の足踏脱穀機は銘板などがなかったため来歴は不詳であるが、大きさからは一人用で、現在でも使用可能な状態で保存されている。

【注記】

足踏脱穀機は明治期に発明された脱穀機である。それまでの千歯(江戸時代に発明)に比べ、1時間当たりの作業能率は5～6倍あったといわれている。なお現在でも、傷をつけないようにと、自家採取の種籾の脱穀に足踏脱穀機を使用している生産者がいると同時に、足踏脱穀機を製造販売しているメーカーもある。



- 【所蔵機関】 広島県立歴史博物館
 【住所】 広島県福山市西町2-4-1
 【連絡先電話番号】 048-931-2513
 【所蔵先URL】 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>
 【閲覧】 要申請

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日：毎週月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月28日～1月4日)、臨時休館あり

入館料：高校生以下無料、大学生210円、一般290円、企画展・特別展は別料金(個人)